

# 培ってきた技術やノウハウの 「競争力」が重要になる

新たな元号となる年を迎えて  
心新たに



東京中小企業投資育成株式会社  
代表取締役社長

望月 晴文

し振りではございましたが、同宴の答礼ご挨拶の最後に、「戦争はいかん。日本が戦争だけはしない国であってほしい」と、絞るような声でおっしゃいました。

新年明けましておめでとうございます。  
今年がわが国にとっては天皇陛下がご退位になり、皇太子殿下が新たな天皇に即位をされるという年でもあります。元号も、平成から新しいものとなります。平成という御世は、わが国が第二次大戦後の新しい憲法のもと、まったく一度も戦渦に巻き込まれない30年間でありました。現行憲法についてはさまざまな側面からいろいろな議論が行われておりますが、この憲法によって、国是とされた平和国家を何よりも希求する心は、国民によって共有され、見事に成果を挙げた時代であったと思います。

昨年末、当社の3代目社長である高橋淑郎先輩が、99歳のお誕生日を迎えるに際し、ささやかな白寿の宴を設けました。いまなお、かくしゃくとしたお話

帝大を卒業され、商工省へ入省直後、海軍主計将校に任官された短期間に同期の四分の一が命を落とされた経歴を語っておられました。戦後の平和な時代しか知らない私にとっては想像すらできませんが、白寿を迎えられた今日でも、おそらくもつとも忘れたくない人生的一幕であったということを吐露されたのではないかと拝察いたしました。

いまこそ製造業のノウハウが  
求められている

さて、昨年の日本経済はアベノミクス6年目に入り、当初のデフレ脱却のシナリオとは異なるものの、米国経済の好調にリードされた世界経済の伸長から、

企業業績の好調に牽引され、一定の持続的成長を続けています。まだまだ物価は目標とした水準にはとどかず、個人消費も力強い伸びとはいえません。他方、雇用はほぼ完全雇用の状態にあり、むしろ人手不足はたいへん深刻な問題となっています。

したがって、働き方改革が重要な政策課題となっていますが、女性や高齢者の一層の活用にとどまらず、外国人材の活用の拡大にも取り組もうとしています。前国会で制度改革がなされましたが、その際提起されたさまざまな問題は引き続き、課題として今年に持ち越されています。

一方で、日本経済を本道の成長軌道に乗せるためのシナリオは、遅まきながら少しずつ姿が共有され始めたような気がします。ここ数年、あらゆるものがネットにつながるIoTやAI（人工知能）、ビッグデータ、クラウドといったさまざまな技術の発展により、すべての企業、そして、あらゆる産業が変革のときを迎えています。

これまでのいわゆる情報化社会の発展の過程では、米国のネットの世界の、いくつかの巨人が競争の勝利者になってきました。ただ、今回の産業社会の変革は、結果として、ネットの世界のようなバーチャルの競争が実取引の世界、すなわちリアルの世界に波及する様相を見せてきました。

見方を変えれば、実取引の世界の情報抜きにバーチャルの世界での戦いには勝てない、ということになってきました。ここにわが国製造業が培ってきた

技術やノウハウの競争力が重要な意味を持つこととなるわけです。

規制改革だけではアベノミクス第三の矢は十分な成長政策とはなりません。こうした成長力の種を果実に育てることができるか？ という重要な局面にあります。

### **不確実性が 経済を動かす時代に挑む**

他方、一昨年以來、世界は相も変わらず自国第一主義、排外主義が蔓延し、近年まれに見る激しい貿易戦争、移民・難民排斥の争いが頻発しています。

米中の貿易戦争、英国のEU離脱をめぐる混乱はもとより、中東における紛争もイラン、トルコ、シリア、サウジアラビアなどが、それぞれの利害から自己主張し、解決の方向性すら見出せない状況にあります。まさに予測不能の不確実な世界に入ってきてしまいました。しかも一朝事あれば、世界を震撼させる大事件になる可能性を秘めたものばかりであります。

われわれにとっても、この不確実な社会のすべての出来事が、グローバル化したわが国経済社会の根幹にかかわることになるという覚悟が必要だと思えます。

年頭に当たり本年が皆様方にとって輝かしい年になりますように心からお祈り申し上げます。